

手術を受けられる患者さんへ

禁煙は(たとえ短期間でも)、
喫煙によって損なわれた血液・循環器・呼吸器、
免疫の機能を大きく回復させる効果があります。



血液・循環器への影響

- 煙に含まれている一酸化炭素が血液中に増加すると、身体の酸素を運搬する力が低下する。
- 血液の粘度が高まり、血小板の寿命が短くなることにより血管が詰まりやすくなり、心臓や脳などの動脈血栓症の発生率が高くなる。
- 煙草に含まれるニコチンの影響により脈拍の増加、血圧の上昇、末梢血管の収縮が起こり、心臓に負担がかかる。



⇒ 2～3日の禁煙で
改善します。

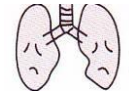


学習研究社 ナースのための図解 手術の話 P118 より抜粋

呼吸器への影響

- 喫煙による炎症で気管支が刺激に対して過敏になる。
- 咳や痰が増え、気管支の動きを障害するため、肺内に溜まった痰をうまく吐き出すことができなくなる。

⇒ 4週間以上の禁煙で
改善します。



免疫機能への影響

- 喫煙により免疫細胞の働きが抑制され、免疫機能が低下するため、肺炎などの感染症を起こすリスクが高くなる。

⇒ 4週間以上の禁煙で
改善します。



喫煙による合併症の問題

- CDC(米国疾病管理予防センター)の「手術部位感染防止ガイドライン」では、ニコチンを使用すると創の一次治癒(傷の治り)が遅れると記しています。
- 喫煙者は非喫煙者より、手術中や手術後の肺炎などの呼吸器合併症の危険性が4倍高いという報告もあります。
- 4週間以上の禁煙は、手術後の呼吸器合併症を30%減らすと報告されています。
- 肺や気管支での合併症の発生率が非喫煙者と同じレベルになるには、8週間の禁煙が必要と考えられています。

* 手術前の禁煙期間が長くなるほど、術後の合併症減少に効果があります。
諦めずに禁煙しましょう。

当院にも、禁煙外来があります。
詳しくはホームページを
御参照下さい。

手術を受ける患者さんには「煙草は体によくないので、手術までに禁煙しよう」と、
禁煙の重要性を知り、安全に手術に臨んでいただきたいです!